

国語科学習指導案 国語総合（基礎）

授業日時	平成27年11月24日（火）第3校時
実施場所	301教室（講義棟3階）
対象学級	鹿児島県立開陽高等学校 全日制課程 普通科（中間年次2名 入学年次9名）
使用教科書	「新編国語総合」（東京書籍）
授業者	松永リナ

1 単元名及び教材名

〔2〕唐詩 唐詩を味わう

2 生徒の実態

中間年次2名 入学年次9名（2名は後期入学生）が受講している。全体的に控えめでおとなしい生徒が多く、積極的に自分の意見を発表する生徒はいない。

事前のアンケート調査によると、「国語が好きか」という問いに対して「大変好き・好き」と答えた生徒は8名中3名でそのほかの生徒は「ふつう」と答えている。それに対し、漢文は好きかという問いに対しては「あまり好きではない」と5名の生徒が答えている。理由としては、「漢字が難しい」「読む順番がわからない」等、基本的なところでつまづきが見られ、漢文に対して苦手意識を相当持っていることがわかった。漢文は難しいと感じている生徒たちに、難しい漢字に対する抵抗感をなくし、理解できて楽しいと感じさせるような授業になるよう努めたい。

3 教材観

中国文学史上、漢詩が絶頂を極めたのは唐代であり、その中で詩人たちが心血を注いで表現の限界に挑戦していったのは、絶句や律詩を中心とする近体詩である。その中から本教材は自然・友情・望郷など多彩な内容を選んでおり、漢詩の世界について生徒一人一人に興味・関心を持たせることができる。また、漢文分野において、格言や故事の学習を通じて漢文の基礎を学び、訓読の基本をある程度学習したあとの単元であるため、漢文を苦手としている生徒にとって、文が短く複雑な返り点もない漢詩は、この時期に学習するには最適な教材である。

4 単元の指導目標

- (1) 唐詩の学習に意欲的に取り組む。(関心・意欲・態度)
- (2) 作者の心情を理解する。(読む能力)
- (3) 近体詩のきまりを理解する。(知識・理解)
- (4) 自分の好きな詩を選び、訳詩を書く。(書く能力)

5 単元の評価規準

- (1) 関心・意欲・態度
唐詩の学習に意欲的に取り組もうとしている。
- (2) 読む能力
現代語訳し、詩にうたわれた状況を理解している。
- (3) 知識・理解
近体詩のきまりを理解している。

(4) 書く能力

自分なりの表現を工夫して漢詩の訳詩を書いている。

6 指導と評価の計画

時間	各時間の目標	主な学習活動	具体的評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 唐という時代のおおまかな認識を持つ。 ○ 唐詩の基本となる規則と特徴を理解する。 〔春暁〕〔山亭夏日〕 ○ 詩を正確に読み、書き下す。 ○ 詩を現代語訳し、内容を理解する。 ○ 作者の心情を理解する。 ○ 詩を暗唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 唐という時代の特色、日本との関係などを理解する。 ② 近体詩のきまりを理解する。 ③ 音読し、書き下す。 ④ 展開に注意して現代語訳する。 ⑤ どのような心情がうたわれているか考える。 ⑥ 理解した詩の内容をもとに暗唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ア 唐詩の学習に意欲的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度) イ 近体詩のきまりの基本を理解している。(知識・理解) ウ 訓点に従って、漢詩を正確に読み、書き下している。(知識・理解) エ 現代語訳し、詩にうたわれた状況を理解している。(読む能力) オ 作者の心情を理解している。(読む能力) カ 詩を暗唱している。(読む能力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 (中間指導・ノートの確認、発表)
2 本時	<ul style="list-style-type: none"> 〔峨眉山月歌〕 ○ 詩を正確に読み、書き下す。 ○ 詩を現代語訳し、内容を理解する。 ○ 作者の心情を理解する。 ○ 詩を暗唱する。 ○ 漢詩の訳詩の特徴について理解する。 ○ 好きな詩を選んで、訳詞を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 音読し、書き下す。 ② 展開に注意して現代語訳する。 ③ どのような心情がうたわれているか考える。 ④ 理解した詩の内容をもとに暗唱する。 ⑤ 自分の選んだ唐詩の内容を確認し、具体的にイメージを膨らませる。 ⑥ 訳詩を書き、推敲させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ア 唐詩の学習に意欲的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度) イ 訓点に従って、漢詩を正確に読み、書き下している。(知識・理解) ウ 現代語訳し、詩にうたわれた状況を理解している。(読む能力) エ 作者の心情を理解している。(読む能力) オ 詩を暗唱している。(読む能力) カ 漢詩の訳詩の特徴を理解している。(知識・理解) キ 自分なりの表現の工夫をして漢詩の訳詩を書いている。(書く能力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 (中間指導・ノートの確認、発表)

7 本時の実際

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価基準と評価の方法
導入 15分	<p>① 前時の復習をする。</p> <p>② 本時の学習内容を確認する。</p>	<p>・時間厳守、IDカード着用や忘れ物の確認、挨拶の徹底。</p> <p>・二人で一句ごとに交互に音読させる。</p> <p>・前回学習した詩の現代語訳を書かせる。</p>	<p>・ 唐詩の学習に意欲的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)【行動の観察】【記述の確認】</p>
展開 70分	<p>① 音読し、書き下す。</p> <p>② 展開に注意して現代語訳し、どのような心情がうたわれているか考える。</p> <p>③ 理解した詩の内容をもとに暗唱する。</p> <p>④ 先人の試みた「春暁」の訳詞を読み比べる。</p> <p>⑤ 自分の選んだ唐詩の内容を確認し、具体的にイメージを膨らませる。</p> <p>⑥ 訳詩を書き、推敲する。</p>	<p>・二人で一句ごとに交互に音読させる。</p> <p>・書き下し文を板書させる。</p> <p>・それぞれの詩形と押韻を確認させる。</p> <p>・現代語訳をしながら、うたわれている季節・状況・心情などを考えさせる。</p> <p>・理解した詩の内容をもとに二人で暗唱できたか確認させる。</p> <p>・表現上の特徴について気付いたことを話し合う。</p> <p>・自分の選んだ唐詩の訳詩を考えさせる。</p> <p>・ワークシートに記入させる。</p>	<p>・ 訓点に従って、漢詩を正確に読み、書き下している。(知識・理解)【記述の確認】【行動の観察】</p> <p>・ 現代語訳し、詩にうたわれた状況を理解している。(読む能力)【行動の観察】</p> <p>・ 詩を暗唱している。(読む能力)【行動の観察】</p> <p>・ 漢詩の訳詩の特徴を理解している。(知識・理解)【行動の観察】</p> <p>・ 訳詩の創作に対して意欲的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)【行動の観察】</p> <p>・ 自分なりの表現の工夫をして漢詩の訳詩を書いている。(書く能力)【記述の確認】</p>
まとめ 5分	<p>① 本時のまとめをする。</p> <p>② 次の時間の予告をする。</p>		